

全国中小企業動向調査結果

(2022年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲33.6となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲13.0となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲29.0となった。
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲33.6 (+19.2)	▲13.0 (+30.6)	▲29.0 (+14.1)	▲19.4 (+16.1)	▲15.0 (+2.5)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる

(前回)新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から上昇し、7.2となった。
来期以降も上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、16.5となった。
来期以降も上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲9.4となった。
来期以降もマイナス幅が縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
7.2 (+8.1)	16.5 (+9.2)	▲9.4 (+1.5)	▲1.1 (-0.7)	4.7 (-1.1)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、立澤)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:小針、藤井)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

目次

調査結果の概要	1
---------	---

【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

【中小企業編】

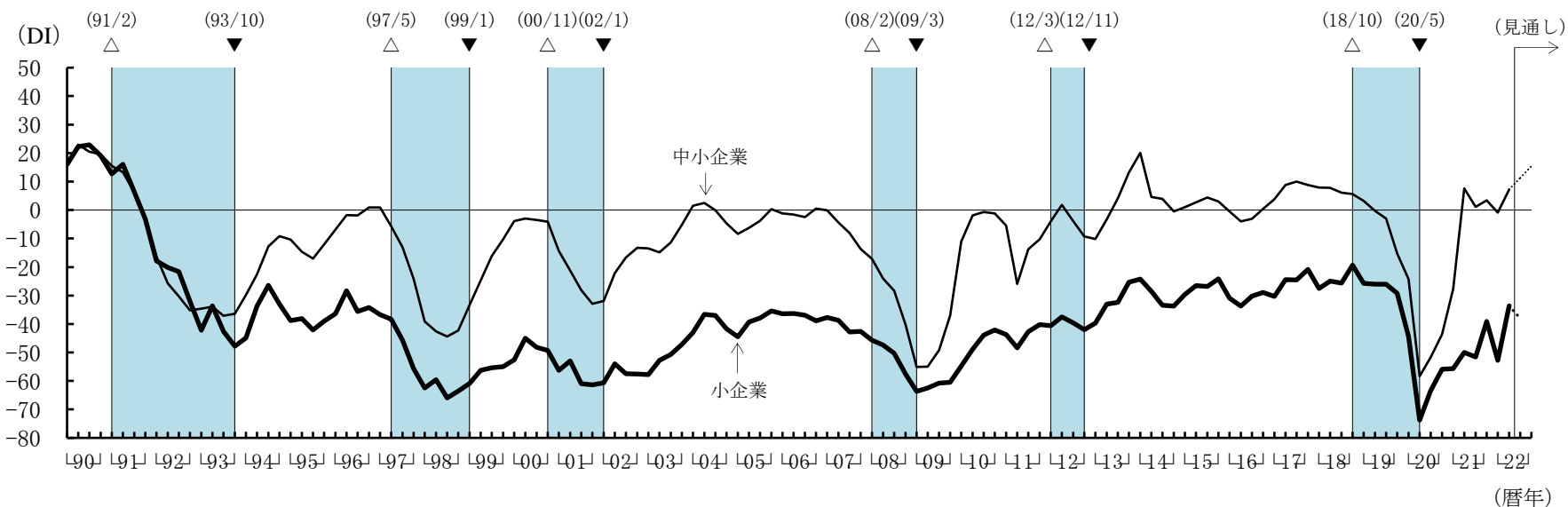
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

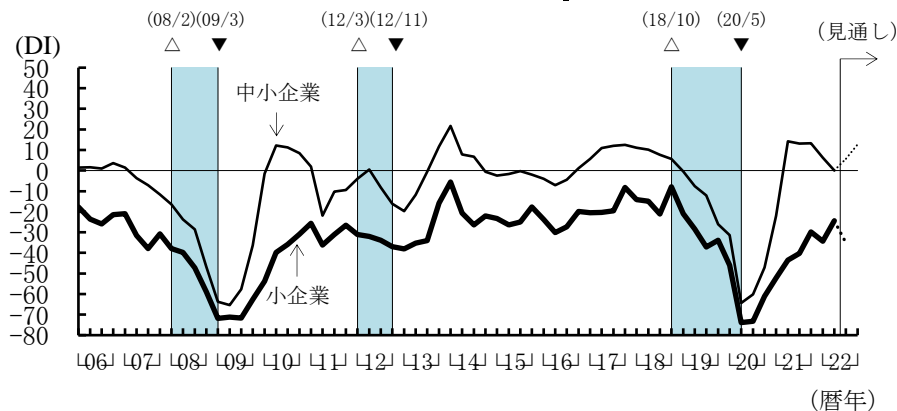
①全業種計

	20.4-6	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	▲ 58.3	▲ 51.7	▲ 43.7	▲ 27.8	7.6	1.1	3.4	▲ 0.9	7.2	見通し	見通し
小企業	▲ 73.7	▲ 63.3	▲ 55.9	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 51.6	▲ 39.1	▲ 52.8	▲ 33.6	▲ 38.0	-



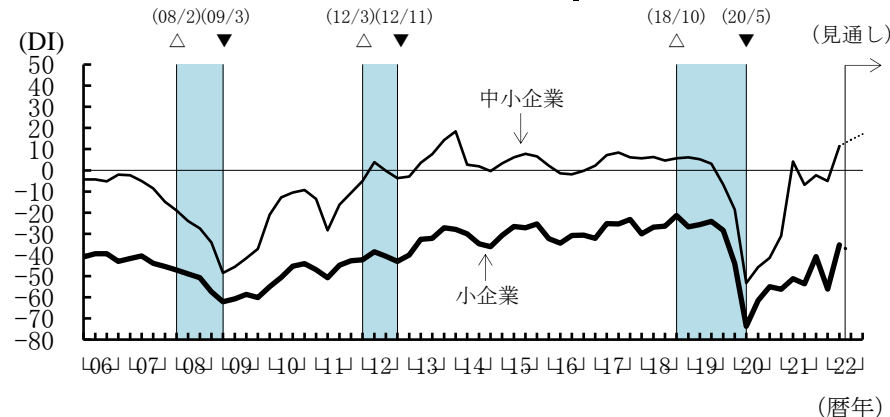
②製造業

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	13.3	6.2	0.1	見通し	見通し
小企業	▲ 29.8	▲ 34.4	▲ 24.5	▲ 35.2	-



③非製造業

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	▲ 2.4	▲ 5.1	11.5	見通し	見通し
小企業	▲ 40.8	▲ 56.0	▲ 35.2	▲ 38.5	-

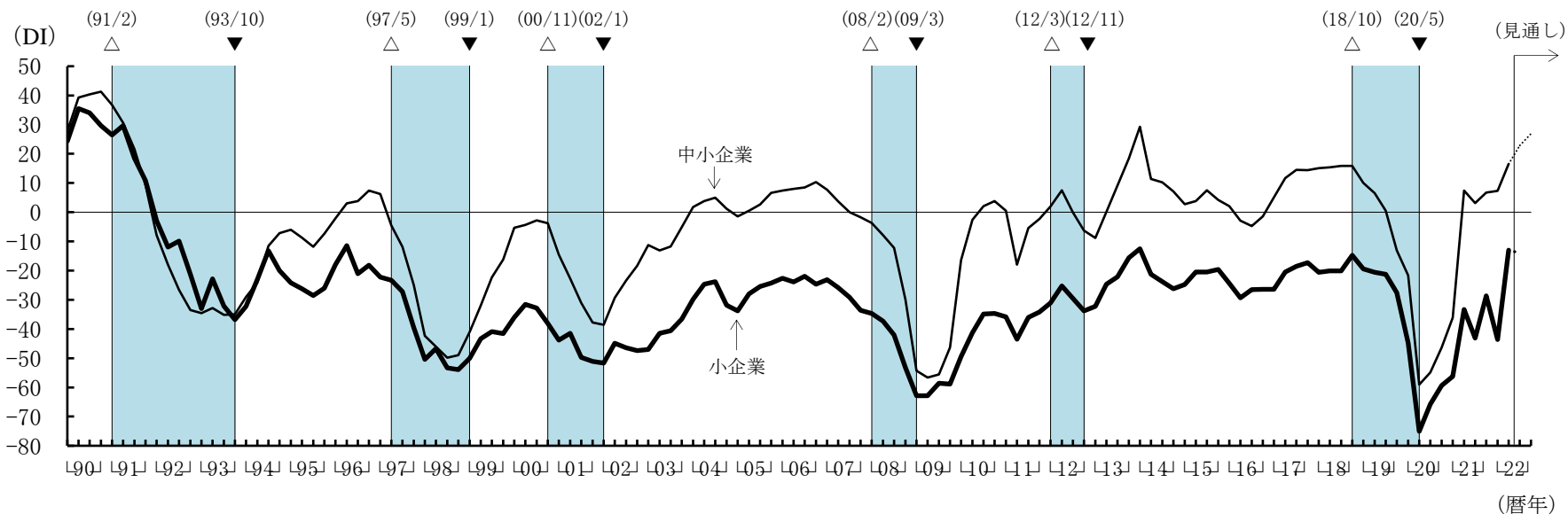


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

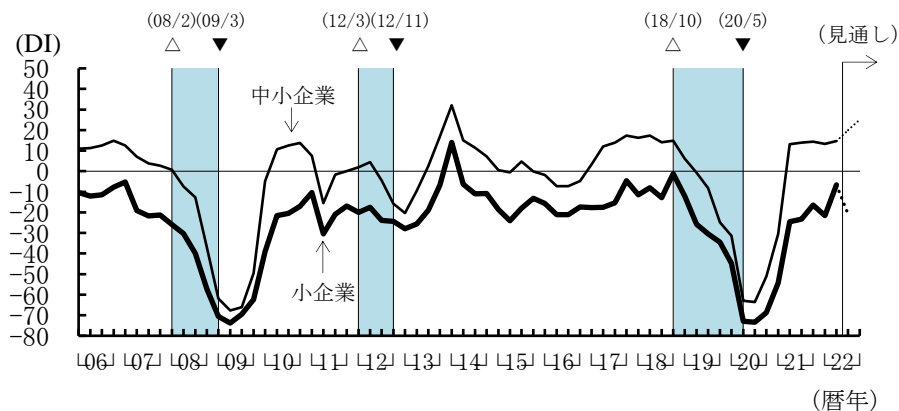
①全業種計

	20.4-6	20.7-9	20.10-12	21.1-3	21.4-6	21.7-9	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	▲59.1	▲54.9	▲46.4	▲36.1	7.4	3.1	6.7	7.3	16.5	見通し	見通し
小企業	▲75.1	▲65.8	▲59.3	▲56.2	▲33.3	▲43.1	▲28.6	▲43.6	▲13.0	▲14.0	-



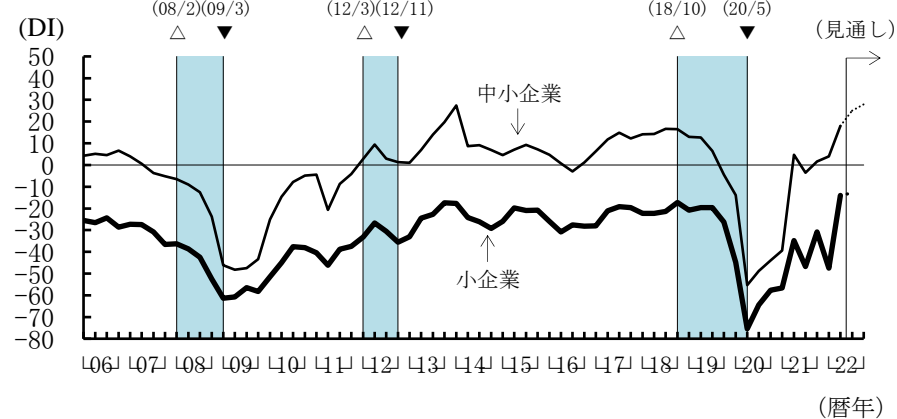
②製造業

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	14.4	13.3	14.6	見通し	見通し
小企業	▲16.4	▲21.6	▲6.6	▲20.8	-



③非製造業

	21.10-12	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12
中小企業	1.6	4.0	18.0	見通し	見通し
小企業	▲30.8	▲47.5	▲14.1	▲12.8	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

小 企 業 編

(2022年4－6月期実績、7－9月期見通し)

小企業の景況は、厳しい状況にあるものの、
持ち直しの動きがみられる

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2022年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	6,366 企業 [回答率 63.7 %]

< 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	944 企業	(構成比 14.8 %)
卸 売 業	(同 10人未満)	800 企業	598 企業	(同 9.4 %)
小 売 業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,503 企業	(同 23.6 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	989 企業	(同 15.5 %)
サ ー ビ ス 業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,338 企業	(同 21.0 %)
情 報 通 信 業	(同 20人未満)	160 企業	76 企業	(同 1.2 %)
建 設 業	(同 20人未満)	1,100 企業	775 企業	(同 12.2 %)
運 輸 業	(同 20人未満)	190 企業	143 企業	(同 2.2 %)

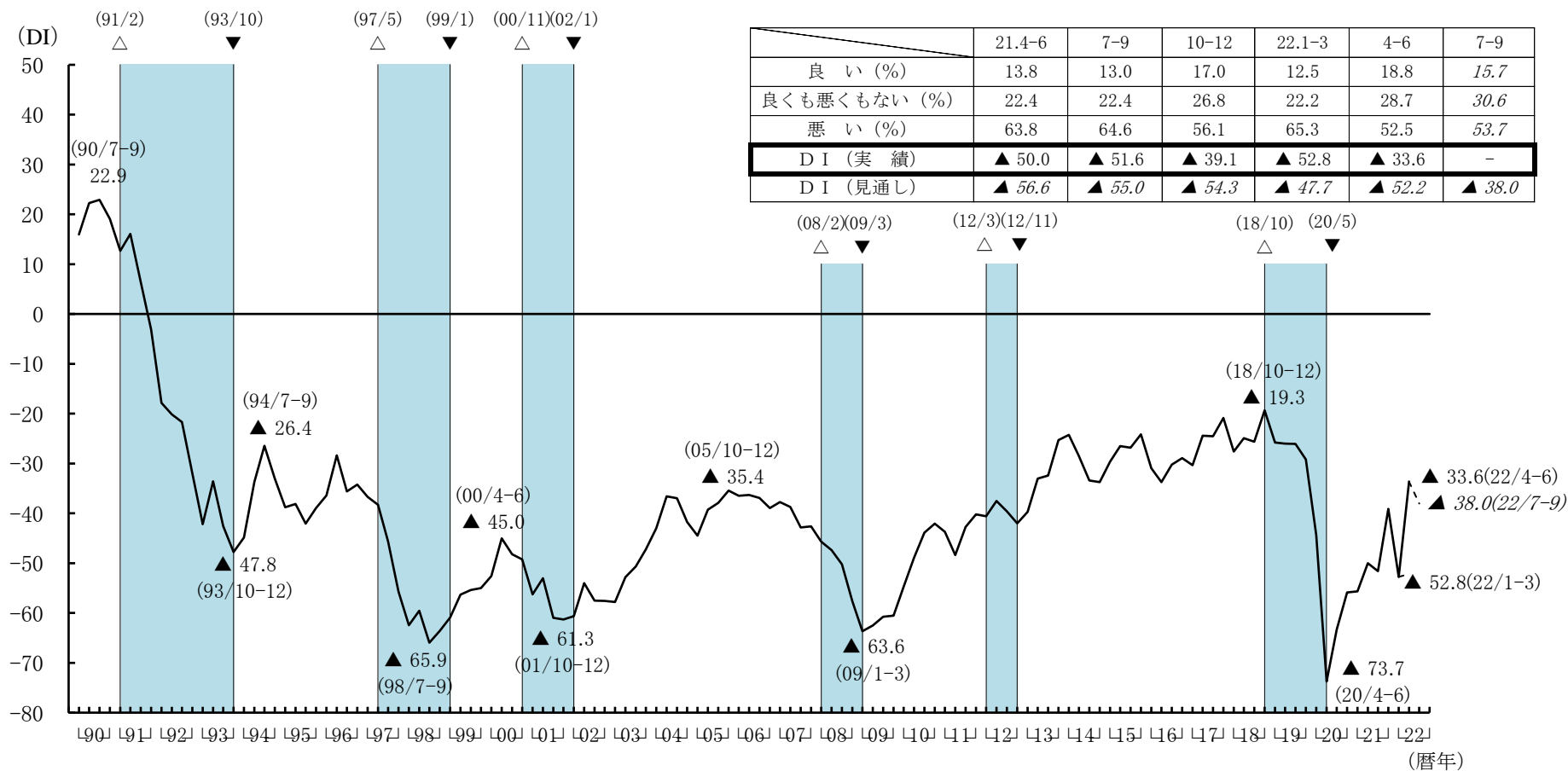
(参 考)

法 人	4,256 企業	(構成比 66.9 %)
個 人	2,110 企業	(同 33.1 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2022年1-3月期）からマイナス幅が19.2ポイント縮小し、▲33.6となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲38.0となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

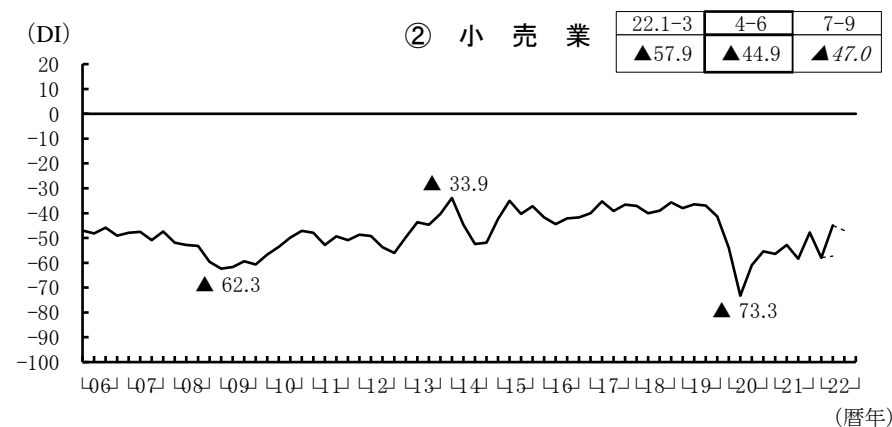
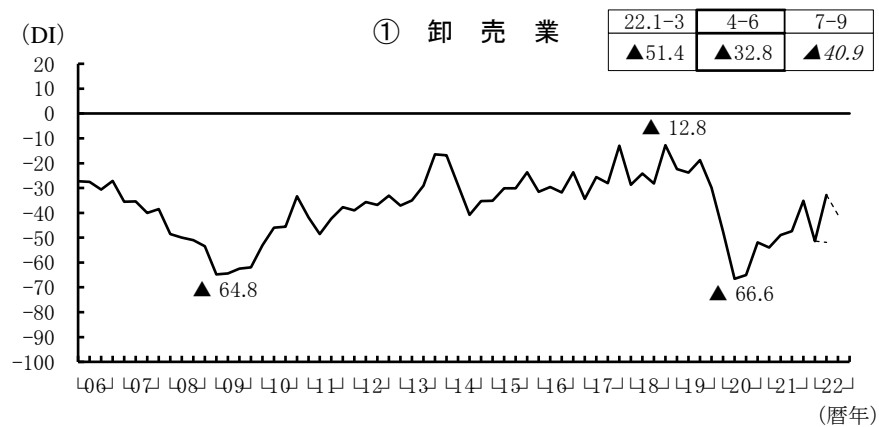
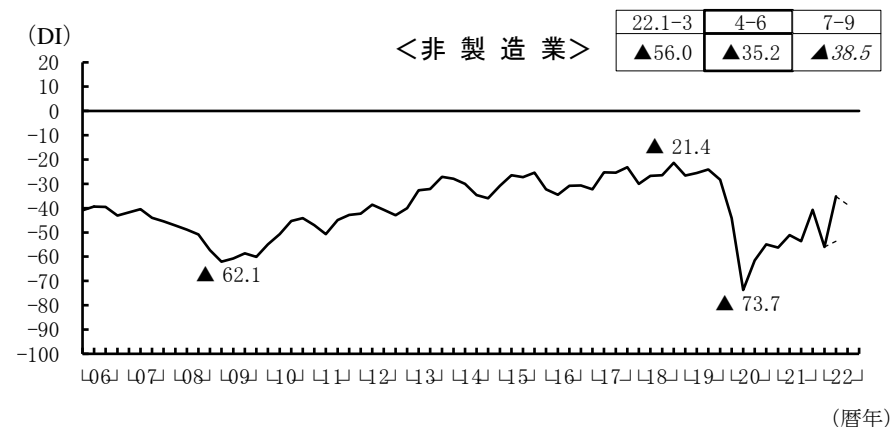
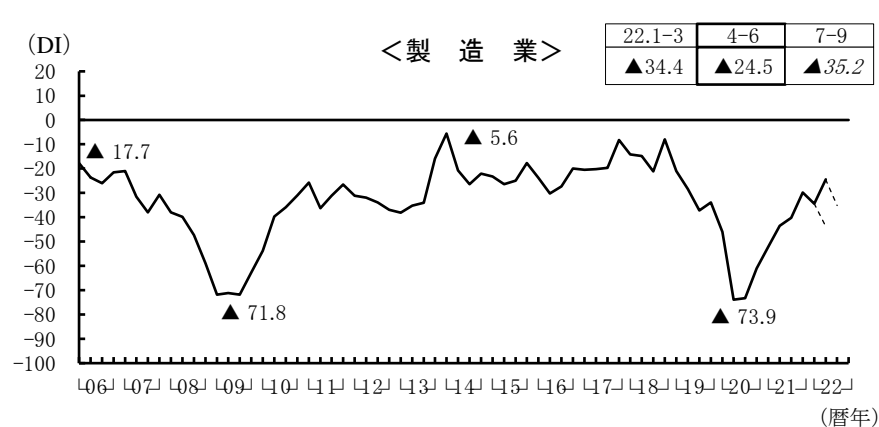


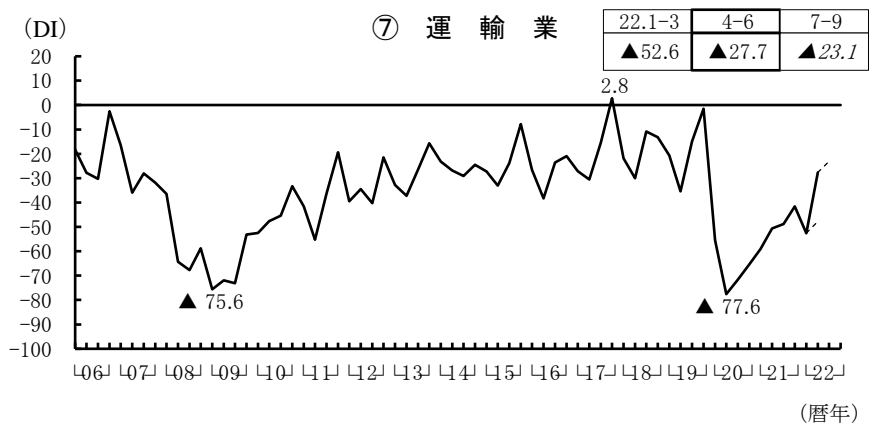
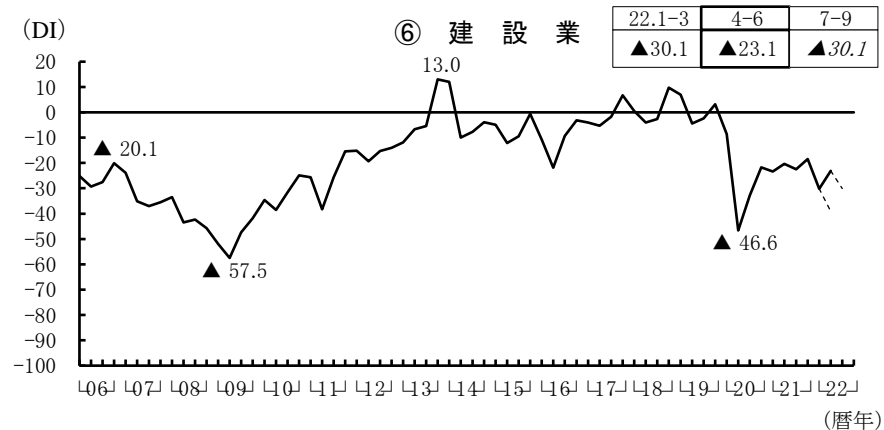
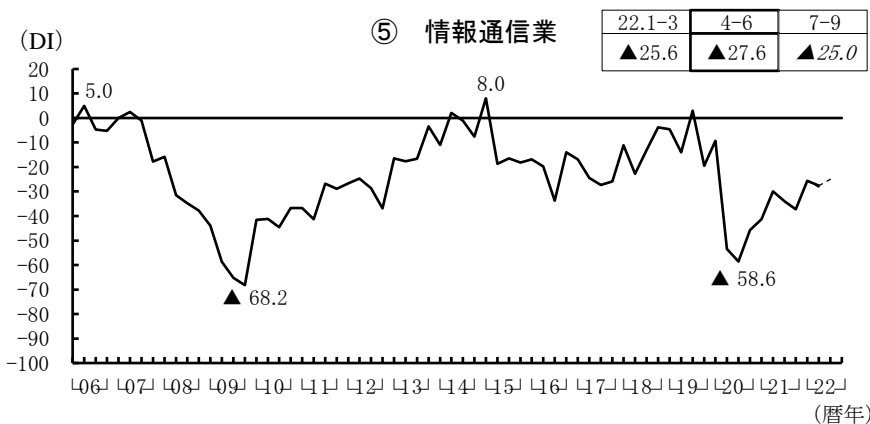
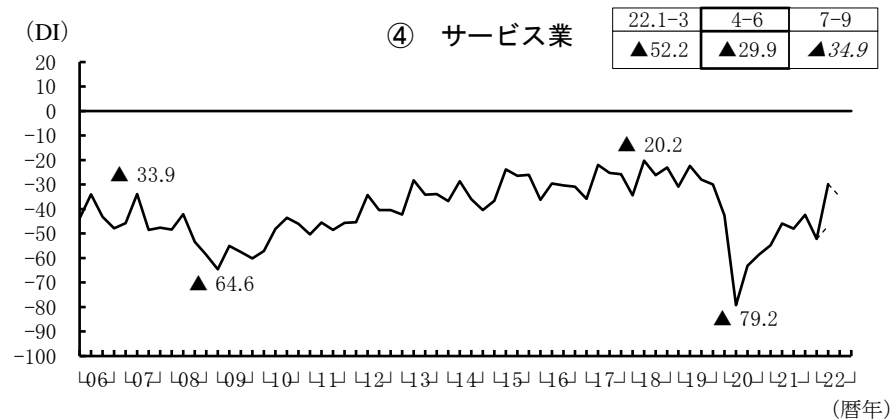
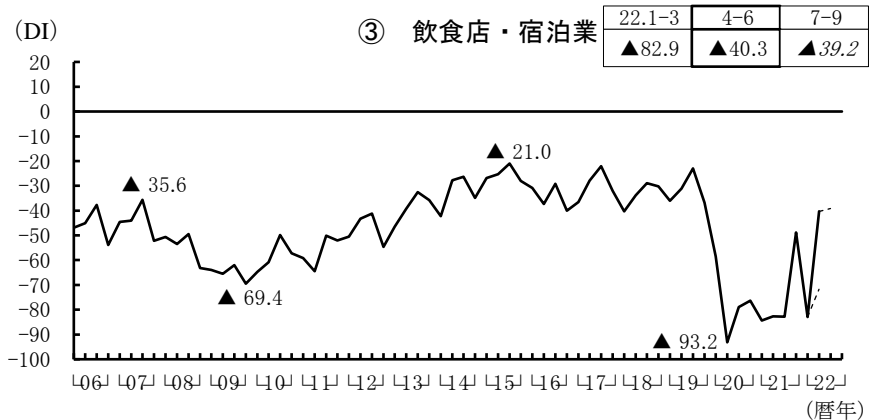
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲24.5）、非製造業（▲35.2）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業を除くすべての業種でマイナス幅が縮小した。

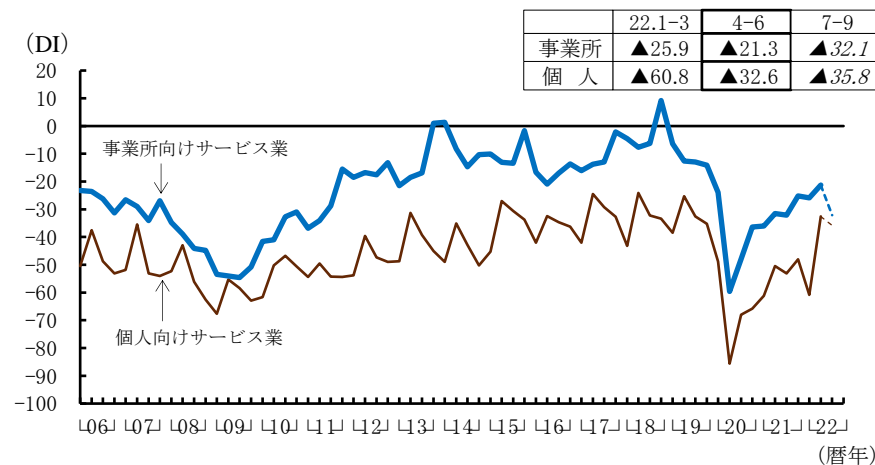
○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移



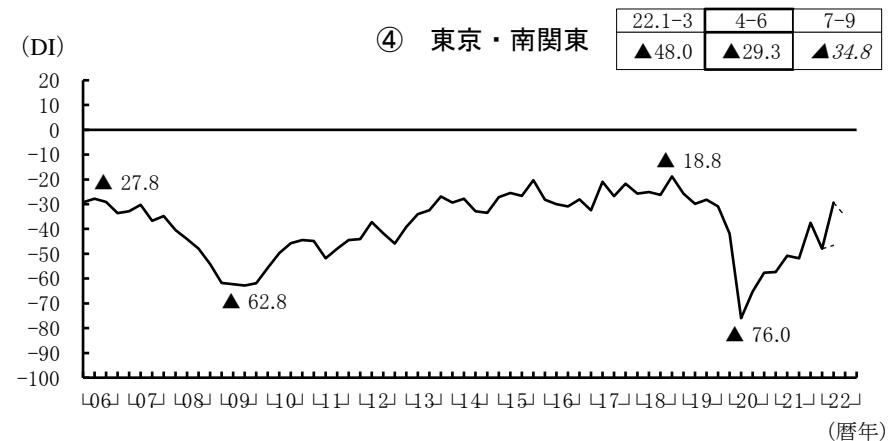
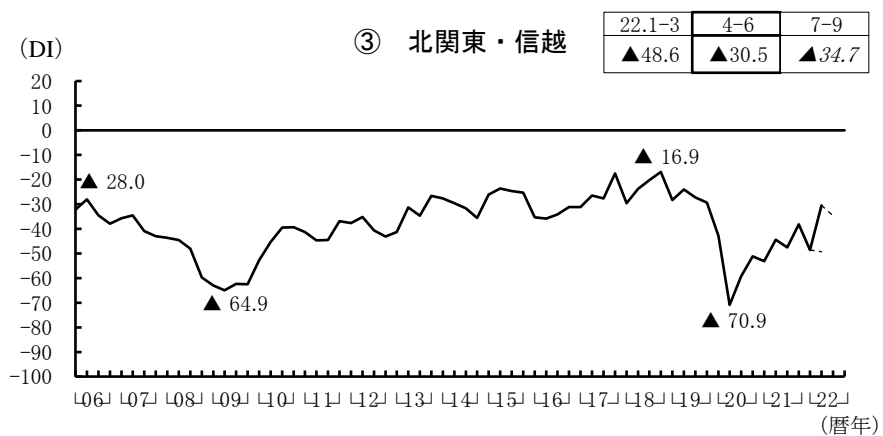
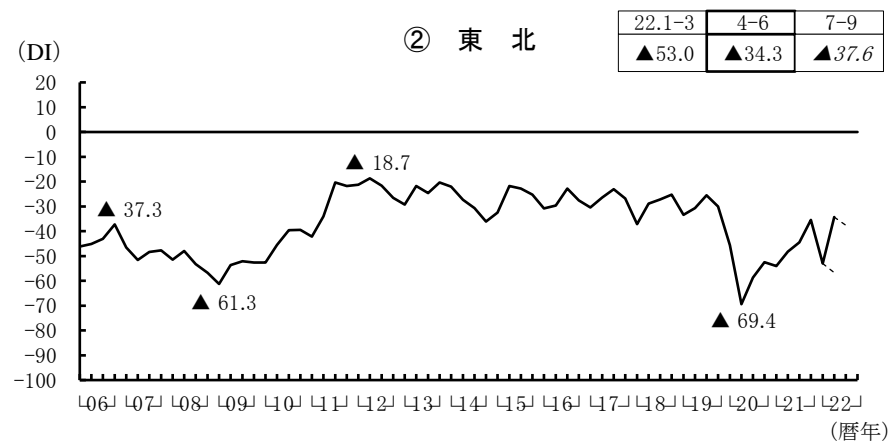
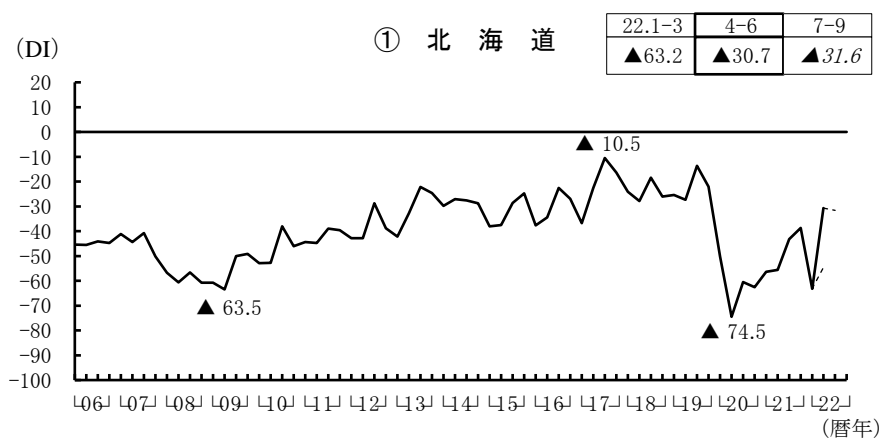


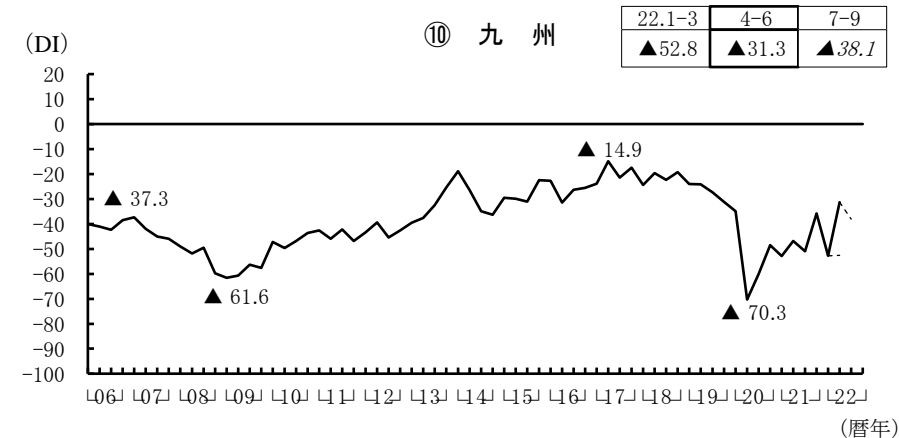
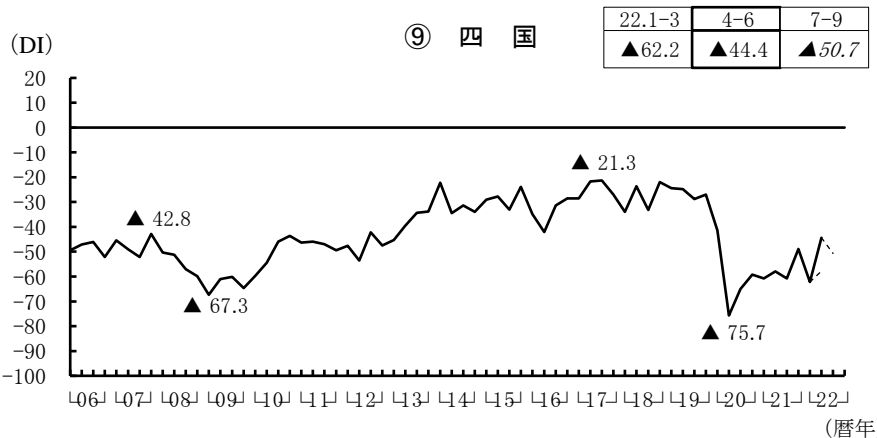
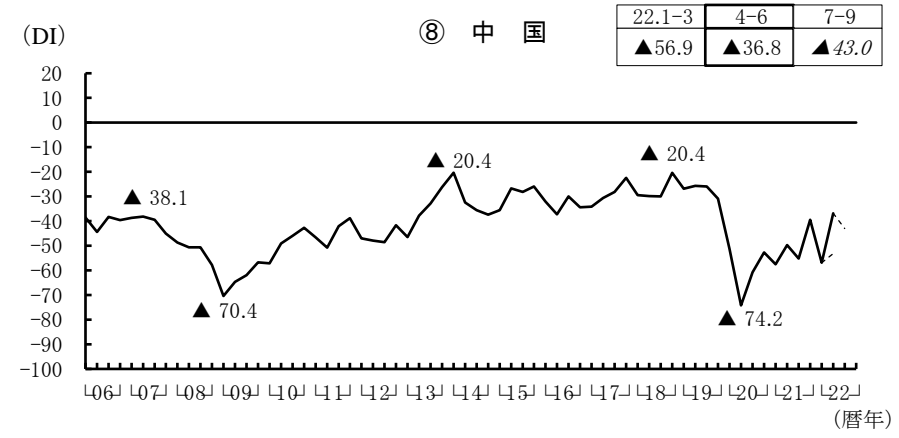
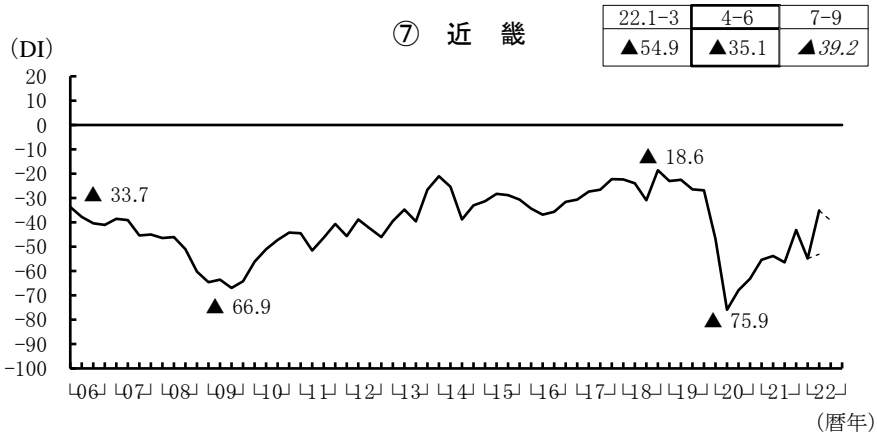
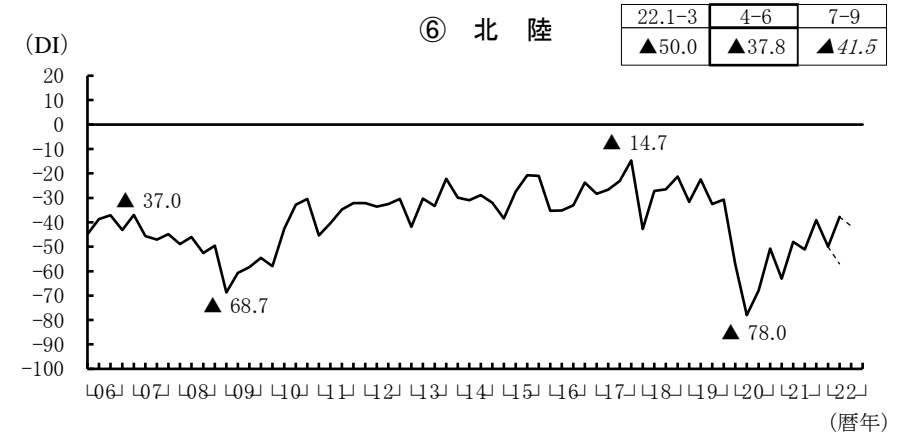
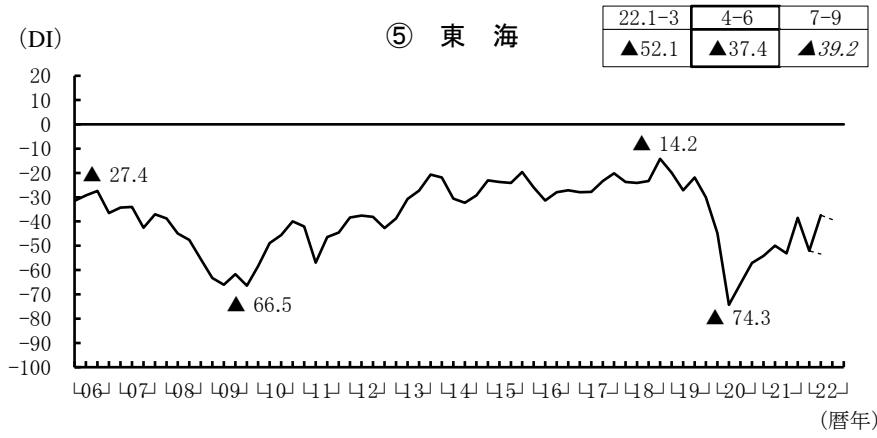
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、すべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

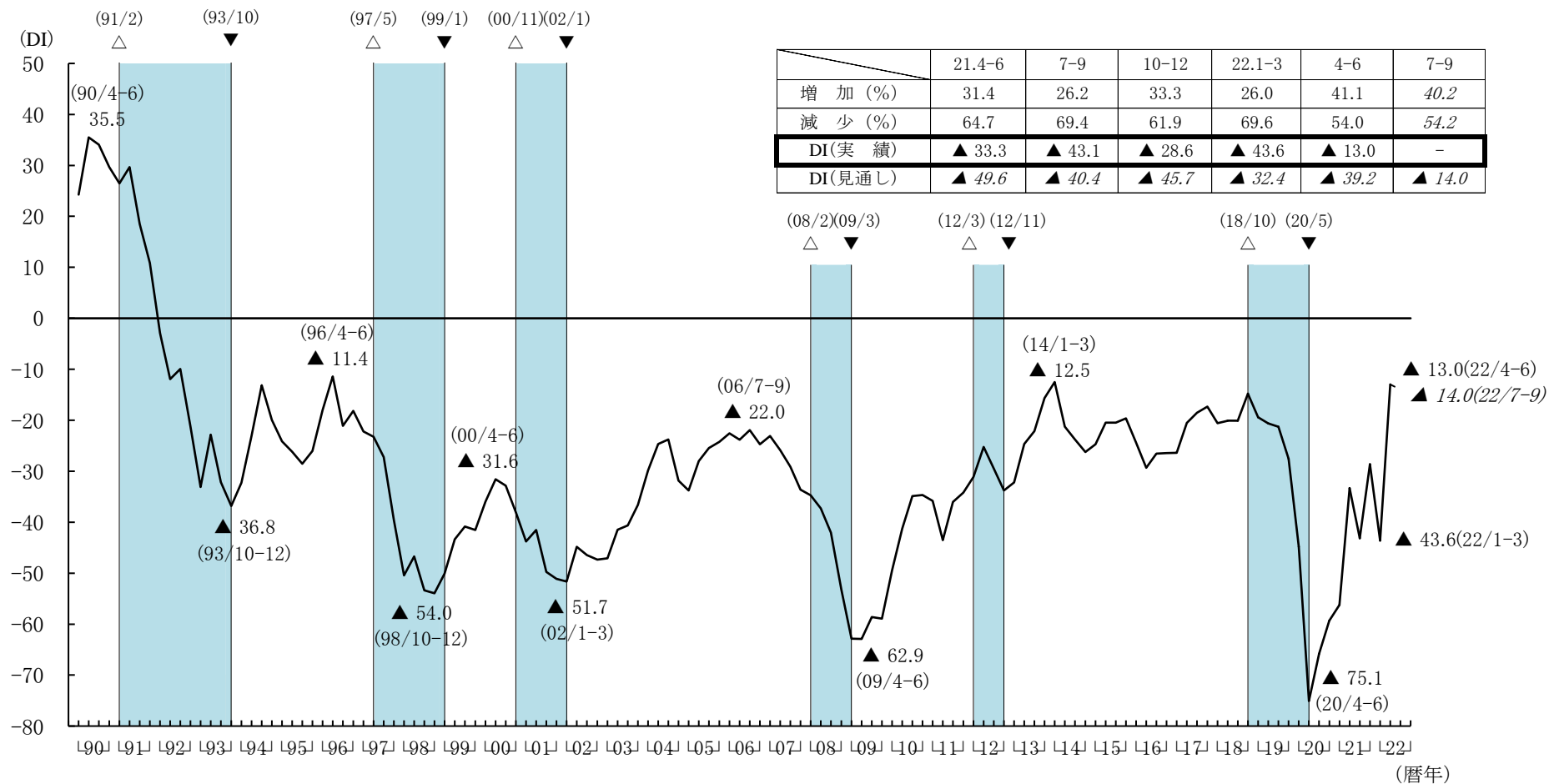




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が30.6ポイント縮小し、▲13.0となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



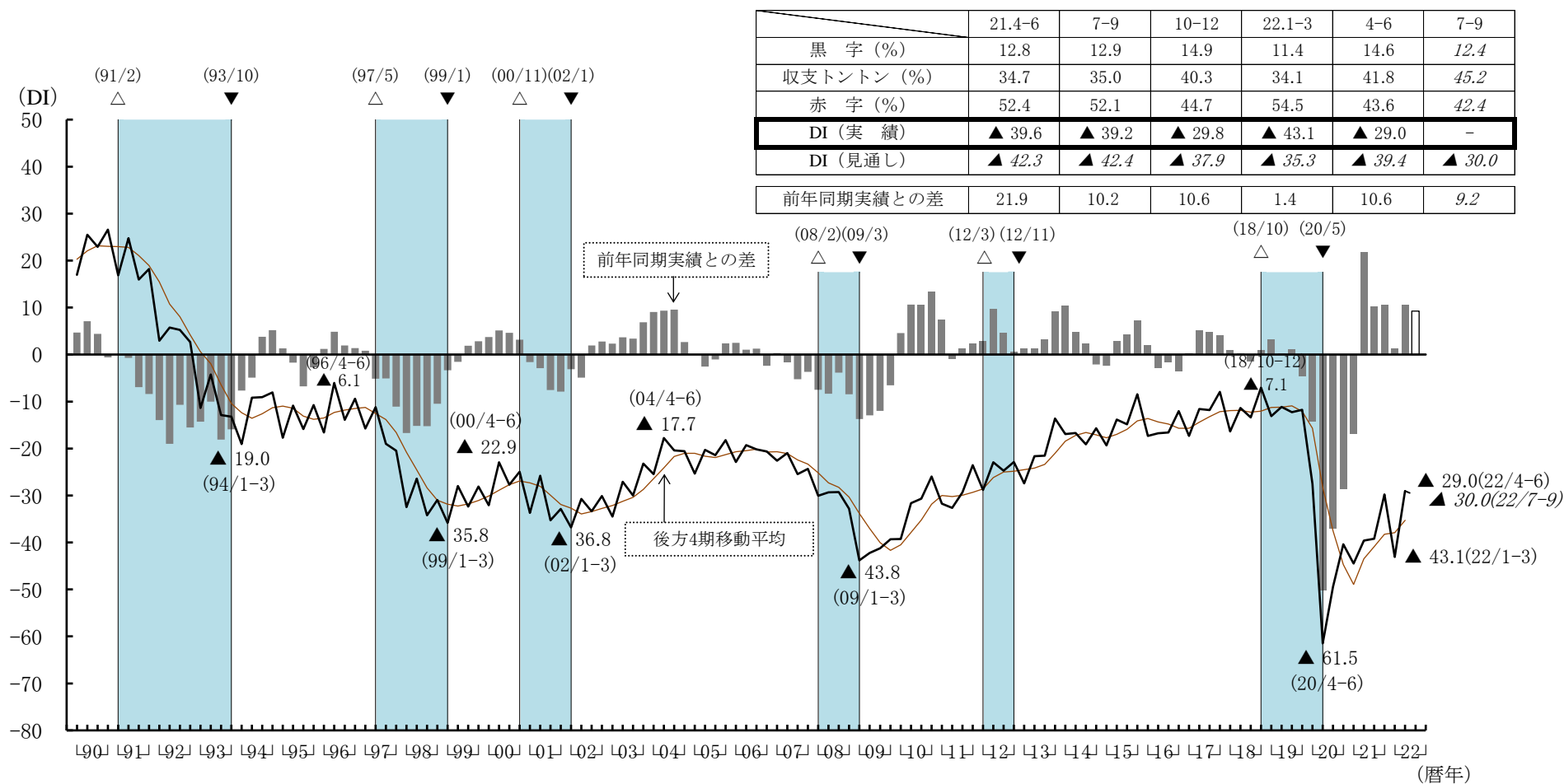
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が14.1ポイント縮小し、▲29.0となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

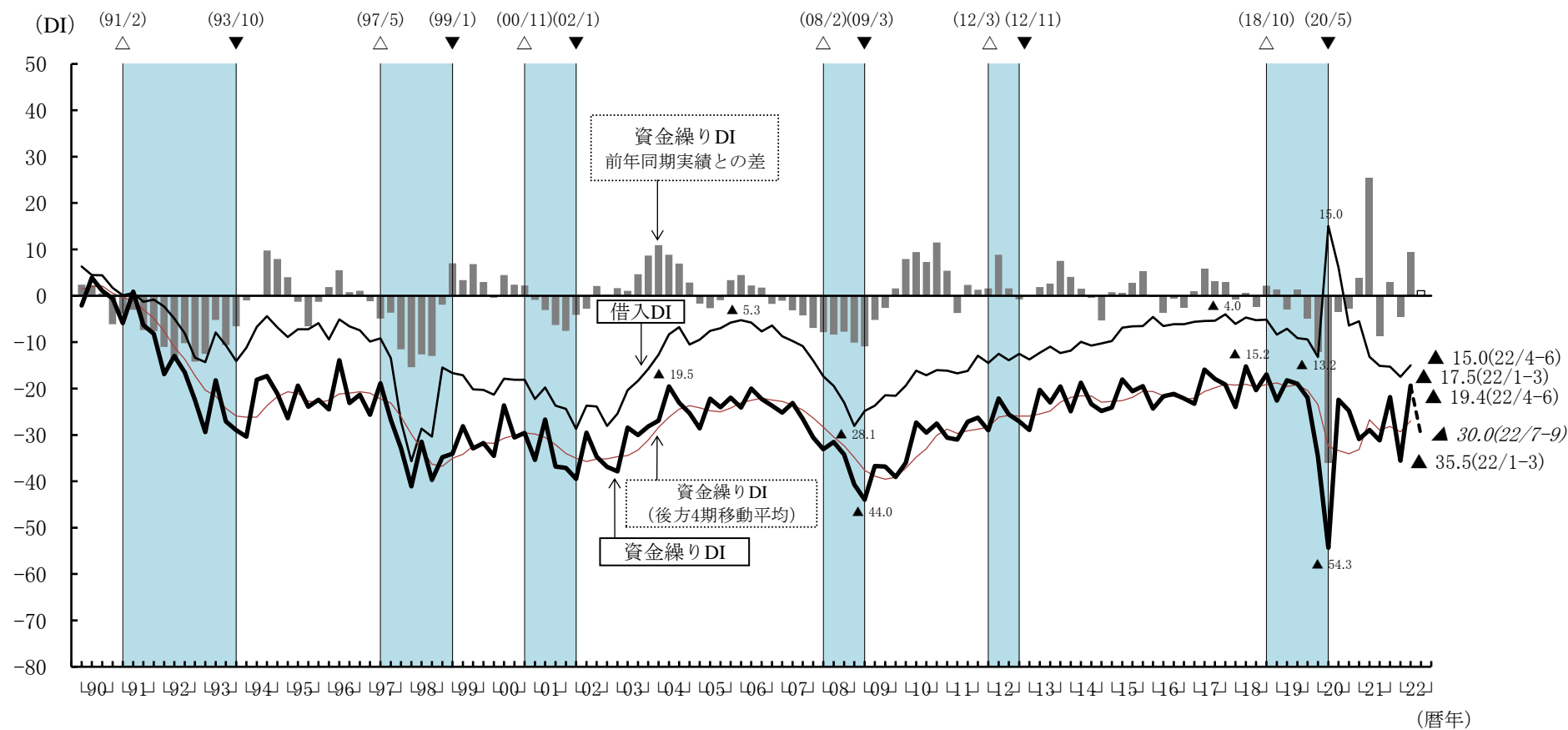
図－5 採算DIの推移（全業種計）



4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が16.1ポイント縮小し、▲19.4となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が2.5ポイント縮小し、▲15.0となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

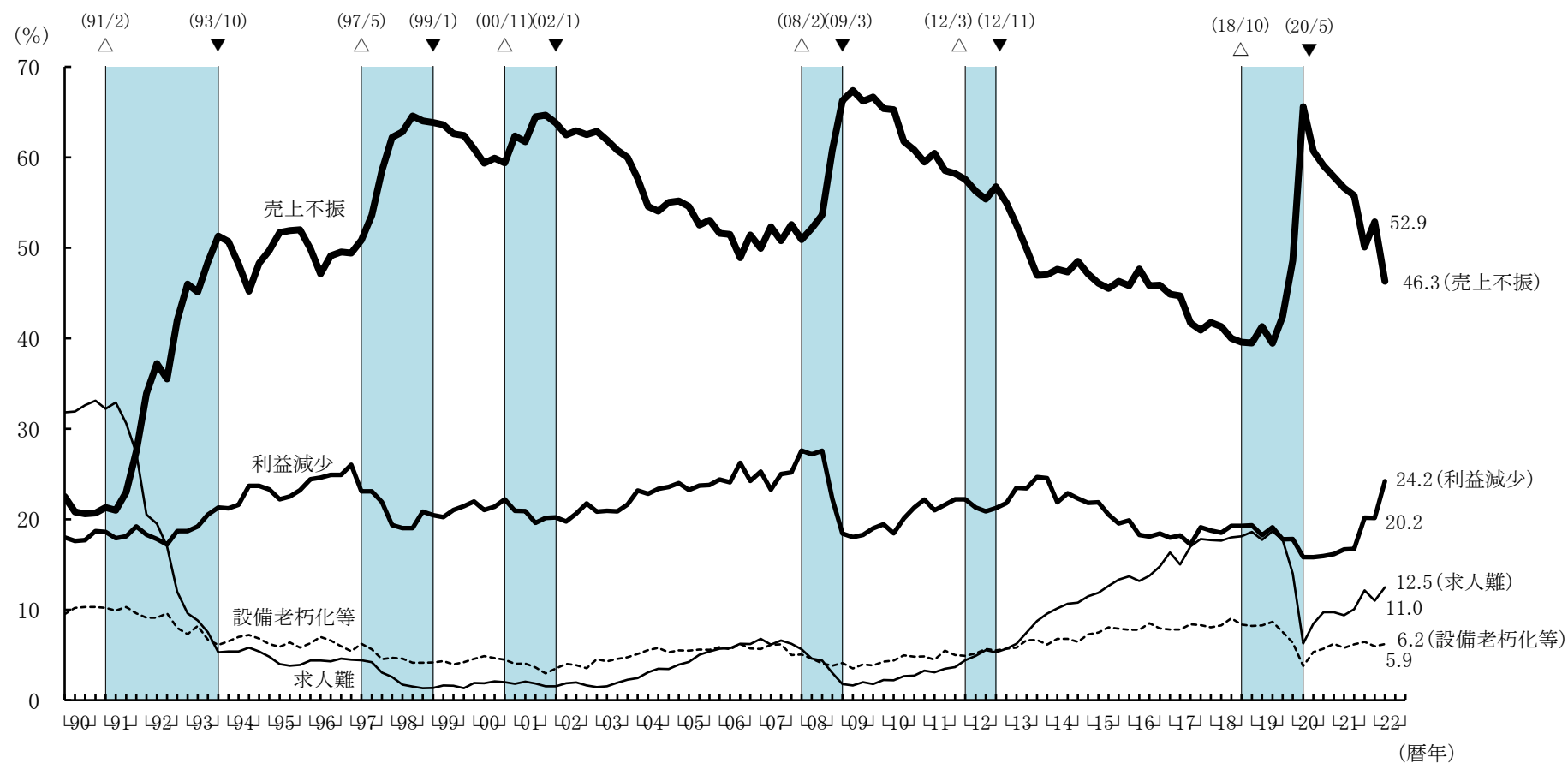


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が46.3%と最も多く、次いで、「利益減少」（24.2%）、「求人難」（12.5%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

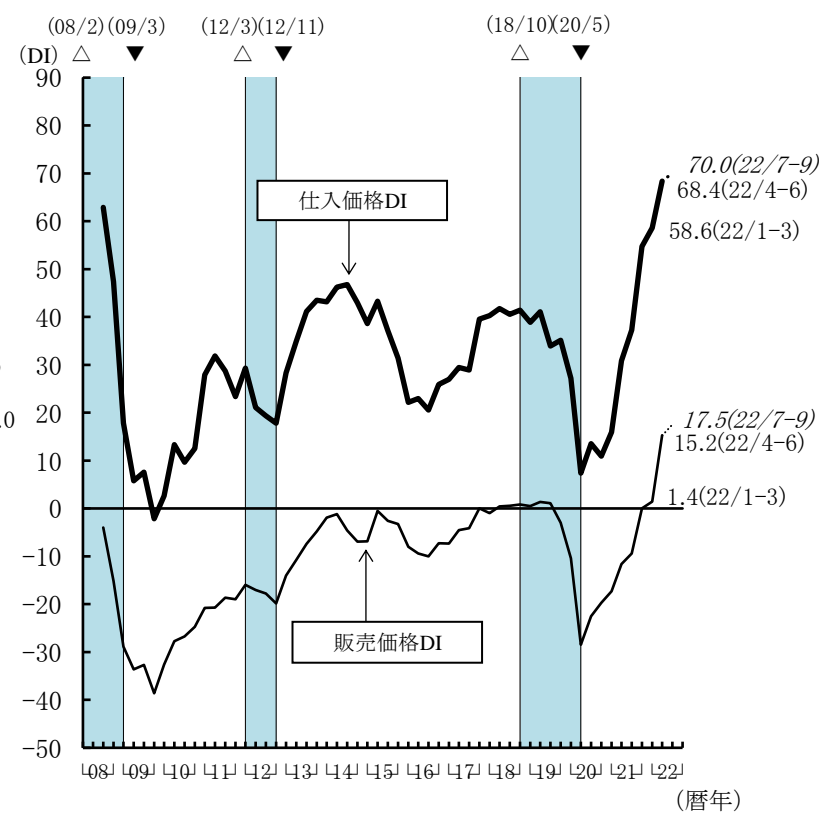
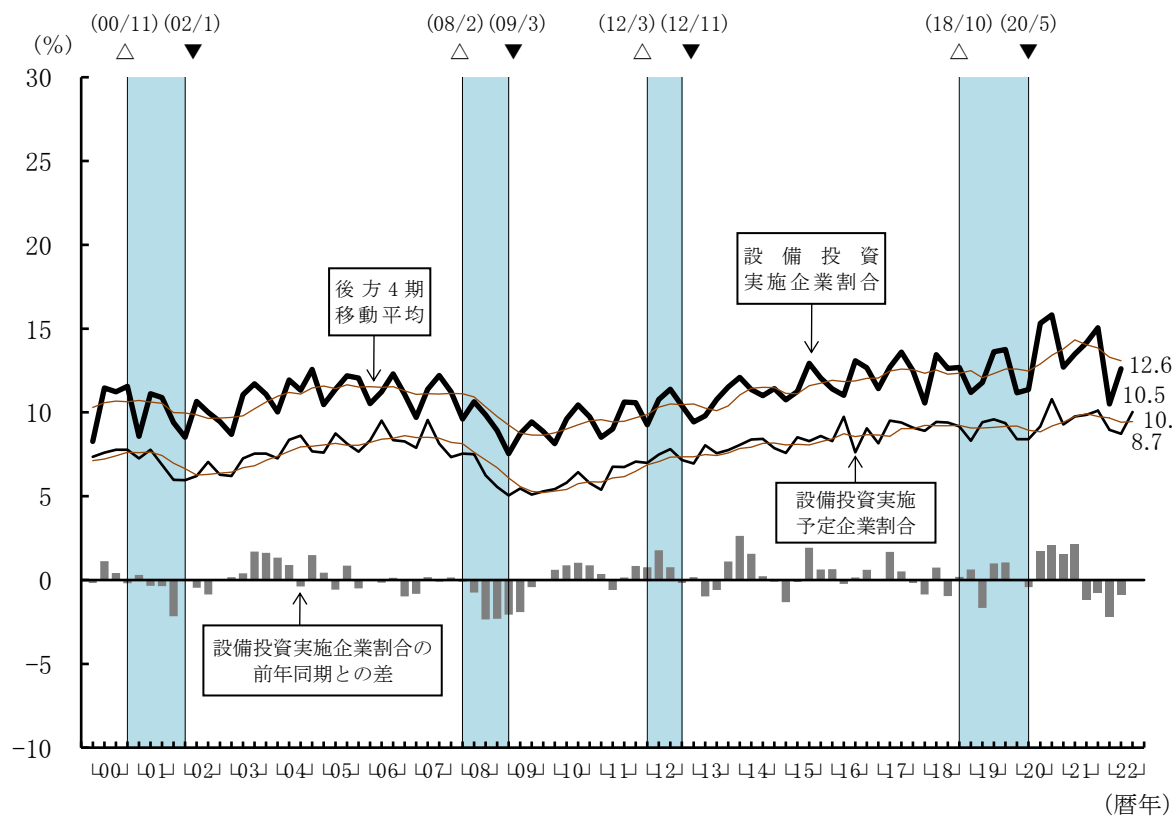


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.1ポイント上昇し、12.6%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、13.8ポイント上昇し、15.2となった。来期も上昇する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、9.8ポイント上昇し、68.4となった。来期も上昇する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2022年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、
持ち直しの動きがみられる

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2022年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）14,057社
有 効 回 答 数	6,200 社 [回答率 44.1 %]

< 業 種 構 成 >

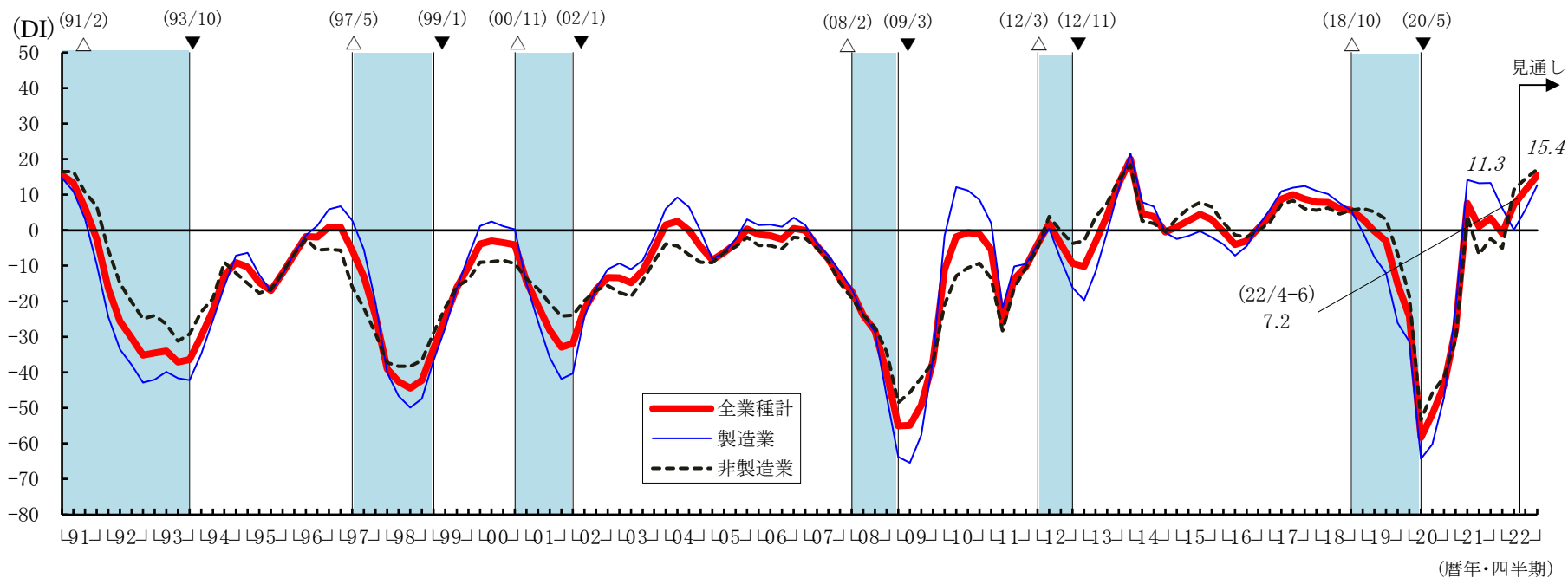
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,712 社	2,195 社	(構成比	35.4 %)
鉱 業	18 社	10 社	(同	0.2 %)
建 設 業	1,343 社	666 社	(同	10.7 %)
運送業(除水運)	910 社	436 社	(同	7.0 %)
水 運 業	139 社	67 社	(同	1.1 %)
倉 庫 業	62 社	27 社	(同	0.4 %)
情 報 通 信 業	410 社	144 社	(同	2.3 %)
ガ ス 供 給 業	8 社	5 社	(同	0.1 %)
不 動 産 業	784 社	316 社	(同	5.1 %)
宿泊・飲食サービス業	843 社	288 社	(同	4.6 %)
卸 売 業	1,983 社	918 社	(同	14.8 %)
小 売 業	1,127 社	467 社	(同	7.5 %)
サ ー ビ ス 業	1,718 社	661 社	(同	10.7 %)

1 業況判断

- 今期（2022年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2022年1－3月期）から8.1ポイント上昇し、7.2となった。
- 来期（2022年7－9月期）は11.3と上昇し、来々期（2022年10－12月期）は15.4となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12
業況判断DI (季節調整値)	7.6	1.1	3.4	▲ 0.9	7.2 (0.8)	11.3 (5.0)	15.4
製 造 業	14.1	13.2	13.3	6.2	0.1 (1.5)	5.7 (6.6)	12.7
非 製 造 業	4.1	▲ 6.8	▲ 2.4	▲ 5.1	11.5 (▲ 0.0)	14.4 (4.2)	17.1



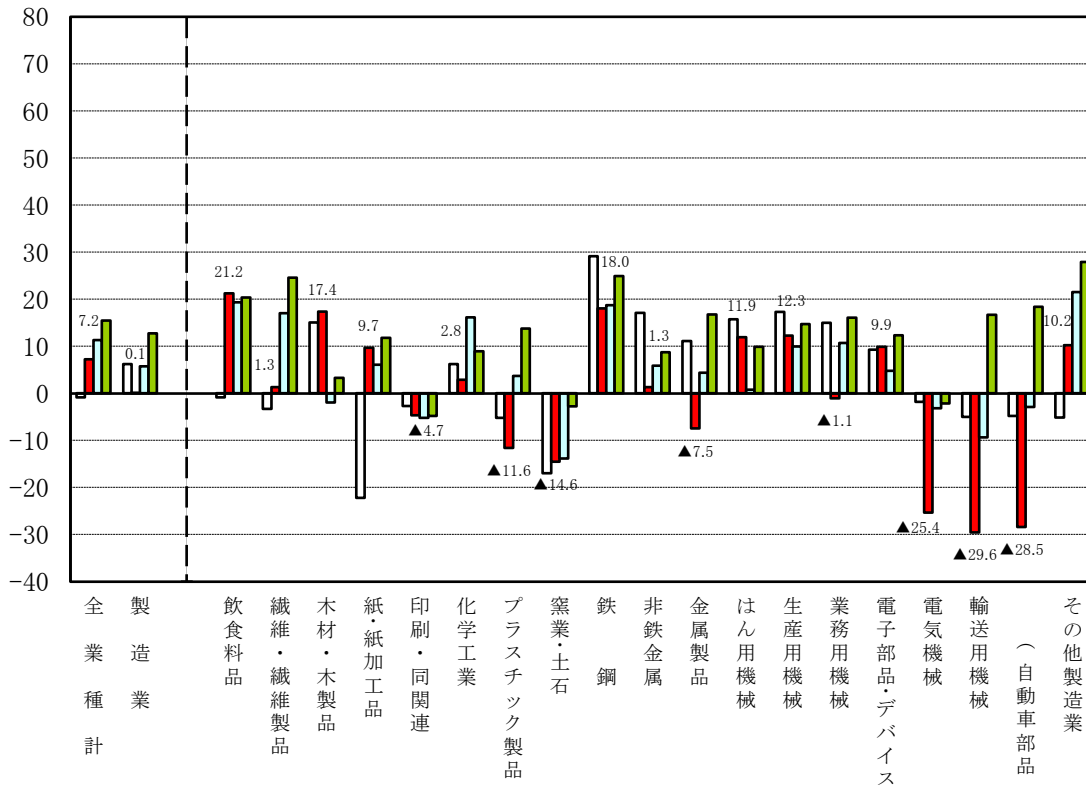
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。
 3 今期調査において季節調整値の改定を実施した（以下同じ）。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、紙・紙加工品、飲食料品、その他製造業等が上昇した。一方、輸送用機械、電気機械等は低下した。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、小売業、卸売業等が上昇した。

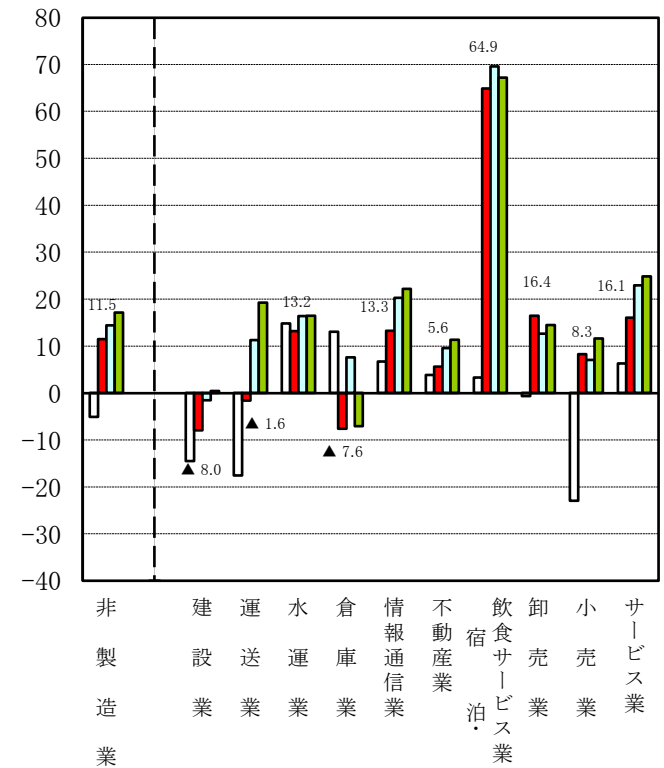
図－２ 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



－製造業－
(DI)



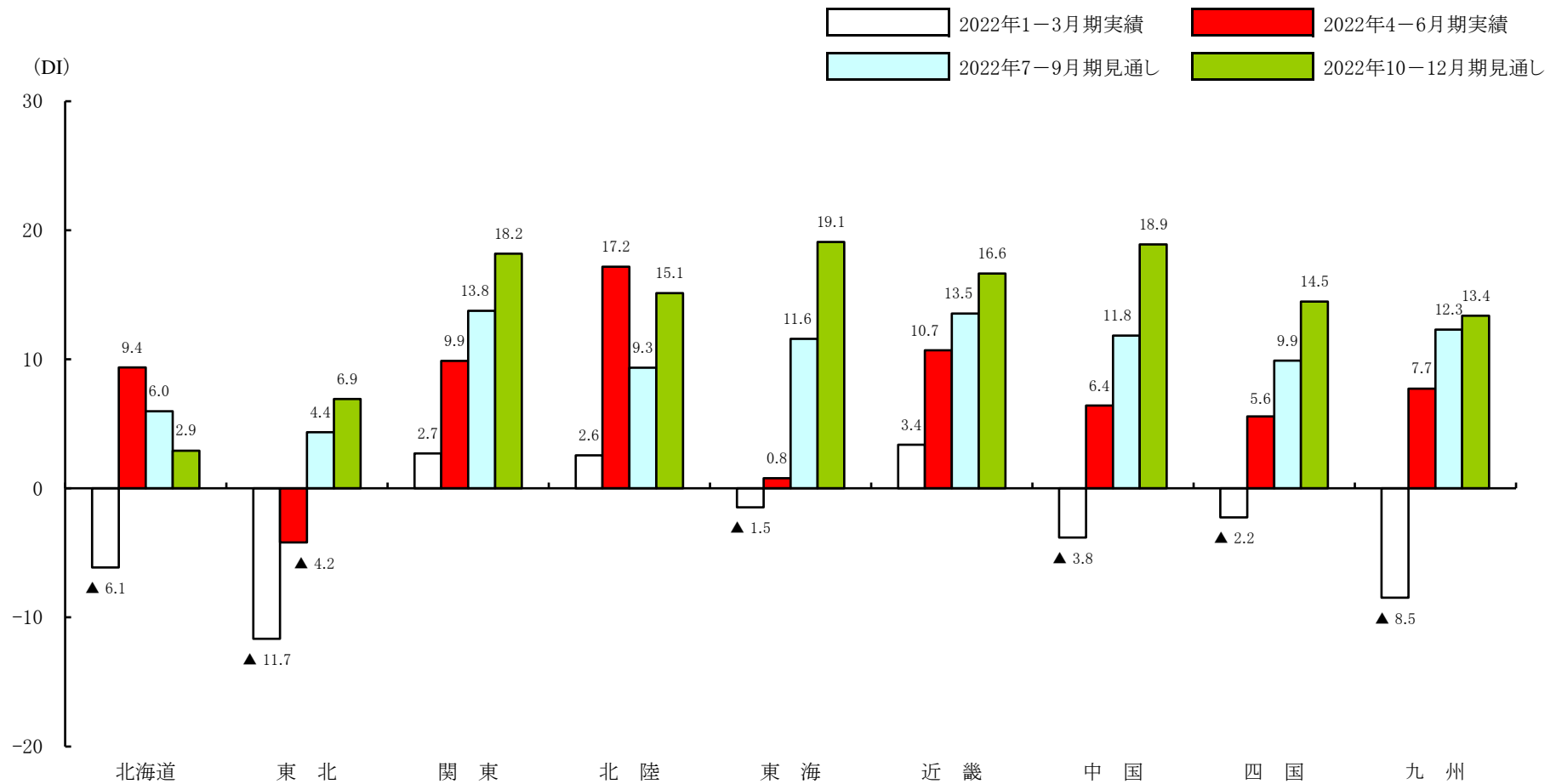
－非製造業－
(DI)



(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

- 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域で上昇した。
- 来期は、東北、関東、東海、近畿、中国、四国、九州の7地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

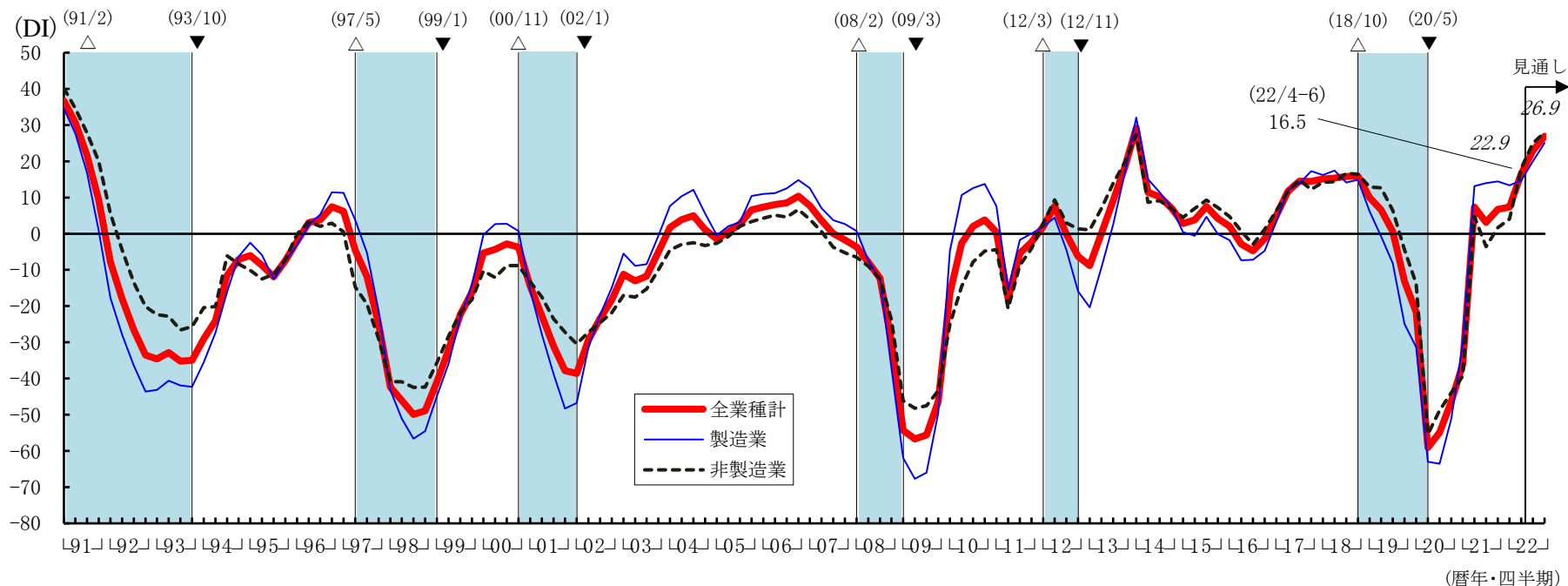


2 売上

- 今期の売上DIは、前期から9.2ポイント上昇し、16.5となった。
- 来期は22.9と上昇し、来々期は26.9となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12
売上DI (季節調整値)	7.4	3.1	6.7	7.3	16.5 (11.9)	22.9 (16.5)	26.9
製 造 業	13.2	14.0	14.4	13.3	14.6 (12.9)	19.9 (17.7)	25.1
非 製 造 業	4.7	▲ 3.6	1.6	4.0	18.0 (10.6)	25.0 (15.9)	27.9



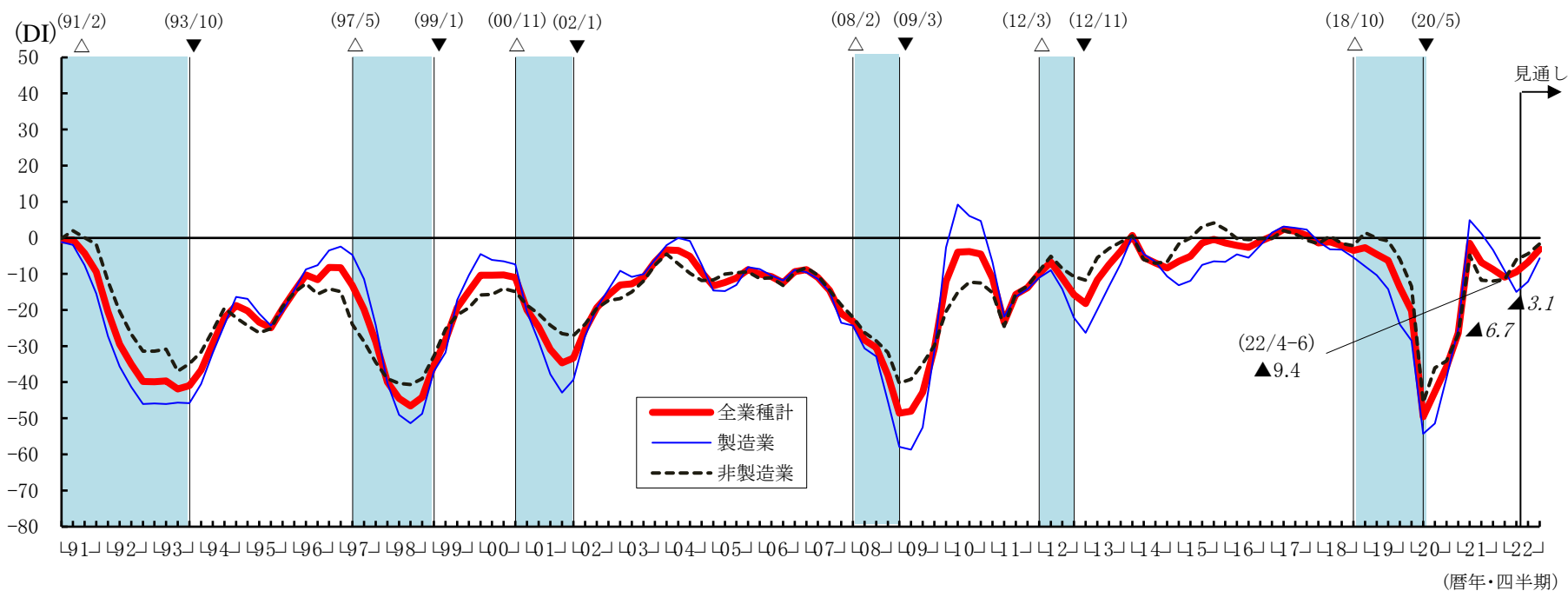
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が1.5ポイント縮小し、▲9.4となった。
- 来期は▲6.7とマイナス幅が縮小し、来々期は▲3.1となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6 (前回見通し)	2022/7-9 (前回見通し)	2022/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 1.5	▲ 6.8	▲ 8.7	▲ 10.9	▲ 9.4 (▲ 12.5)	▲ 6.7 (▲ 6.6)	▲ 3.1
製 造 業	4.9	1.2	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 15.0 (▲ 11.2)	▲ 12.1 (▲ 6.5)	▲ 5.7
非 製 造 業	▲ 4.8	▲ 11.8	▲ 12.0	▲ 11.6	▲ 6.1 (▲ 12.3)	▲ 4.5 (▲ 6.7)	▲ 1.7



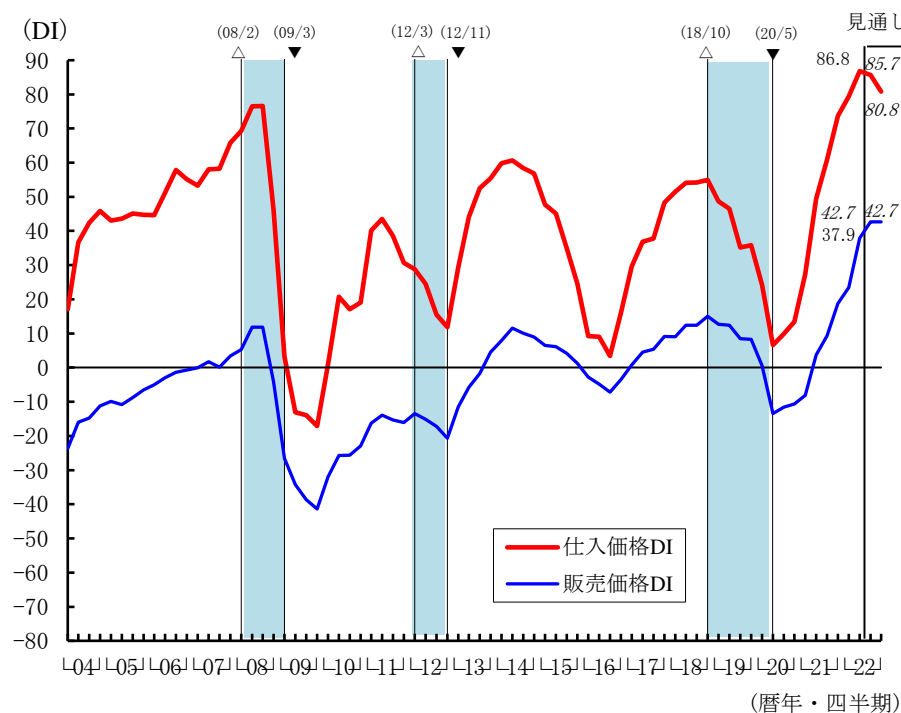
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から14.4ポイント上昇し、37.9となった。仕入価格DIは前期から7.4ポイント上昇し、86.8となった。来期の販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは前期から低下した。長期借入難易DI、短期借入難易DIもともに低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

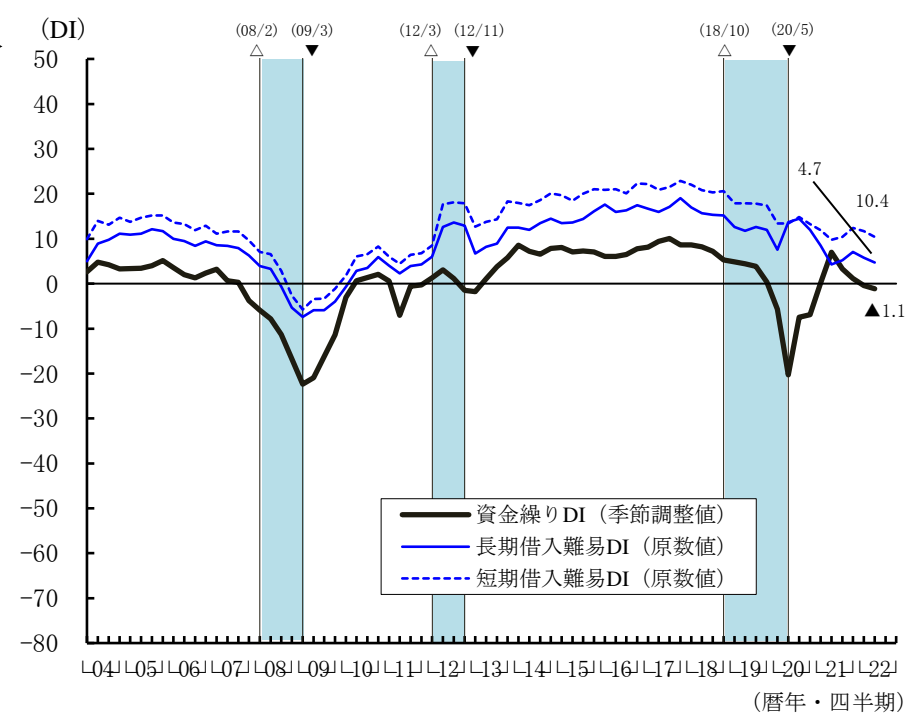
	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	見通し	
						2022/7-9	2022/10-12
販売価格DI	3.7	9.3	18.8	23.5	37.9	42.7	42.7
仕入価格DI	49.4	60.8	73.7	79.4	86.8	85.7	80.8



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6
資金繰りDI（季節調整値）	7.0	3.3	1.1	▲0.4	▲1.1
長期借入難易DI（原数値）	4.3	5.2	7.1	5.8	4.7
短期借入難易DI（原数値）	9.8	10.4	12.4	11.7	10.4



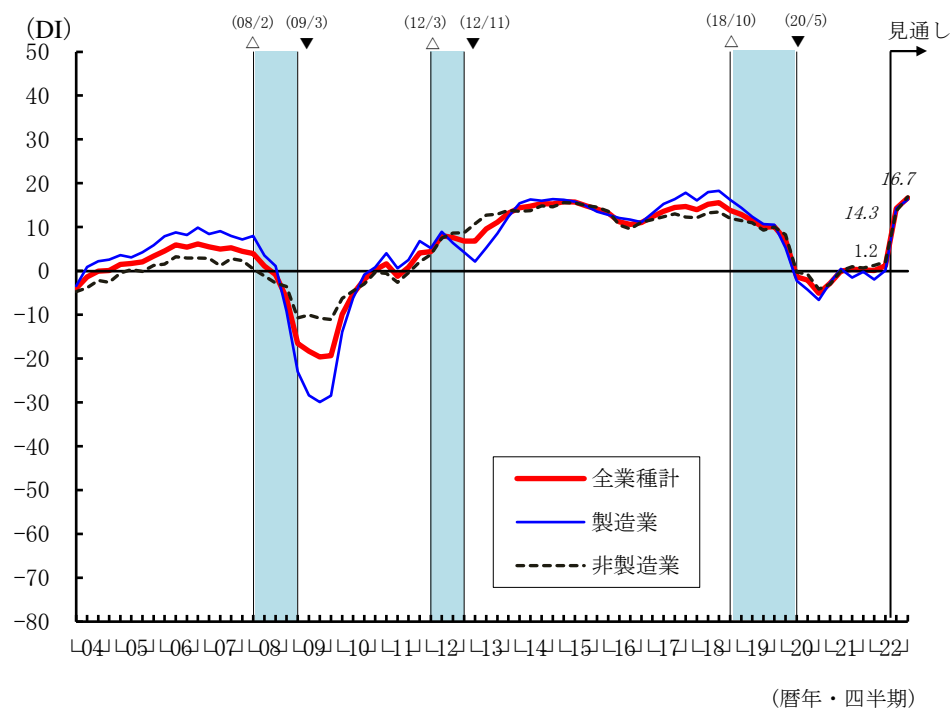
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から1.1ポイント上昇し、1.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.4ポイント上昇し、36.0%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

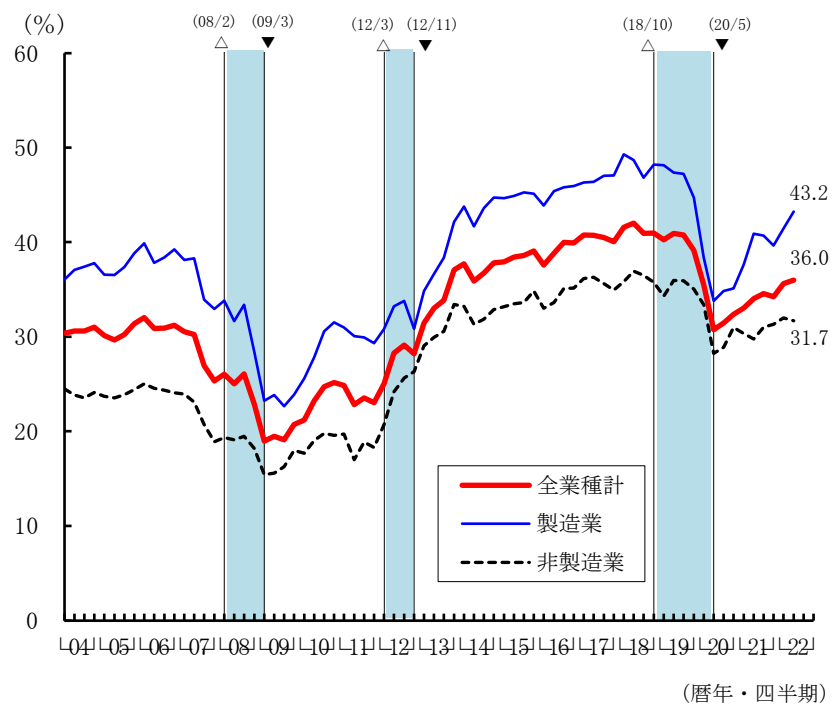
	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6	2022/7-9	2022/10-12
全業種計	▲0.1	0.4	0.2	0.1	1.2	14.3	16.7
製造業	0.4	▲1.5	▲0.2	▲1.9	0.1	14.3	16.3
非製造業	0.0	1.0	0.7	1.3	2.1	13.7	17.0



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2021/4-6	2021/7-9	2021/10-12	2022/1-3	2022/4-6
全業種計	34.0	34.6	34.2	35.6	36.0
製造業	40.9	40.7	39.6	41.4	43.2
非製造業	29.8	31.0	31.3	32.0	31.7



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「原材料高」が35.3%と最も多く、次いで、「売上・受注の停滞、減少」(28.9%)、「求人難」(17.1%)となっている。
- 前回調査と比べると、「原材料高」は6.7ポイント上昇した。「売上・受注の停滞、減少」は7.2ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

